

# 院長の独り言



『AIよ 俺の上司の指示わかる?』 『AIに 翻訳させたい 嫁の機嫌』 『AIが 俺の引退 早めそう』 『AIが オレのレポート 見て笑う』 第一生命保険が例年開催している「サラリーマン川柳コンクール」の第31回の全国優秀100選の中からAIに関する川柳を紹介しました。急速に進歩しているAIとその進歩を後押しするディープラーニングは、近い将来自分の仕事がAIに奪われるかもしれないという漠然とした不安を労働者全般に与えています。特に「マックジョブ」しかできない人は心配です。「日経ビジネス」の記事を引用しますと、「マックジョブ」とは、マクドナルドの業務内容とは無関係ですが、「マクドナルドのような仕事」を指す造語で「低賃金で必要な技術レベルが低く将来性のない仕事」という意味で使われます。単純な作業はこれからAIが担うとすれば、企業が必要とするのはクリエイティブな人材ということになります。しかし、クリエイティブな人



というのは、才能はありますが、その才能が長く続くという保証はありません。ましてや、組織がまとまるためには孤高の人の集団では、最終的に空中分解し兼ねません。それでは、マックジョブ型人間は何を目指せばいいのでしょうか。1つ目は、なかなか難しいですが、早々に出世して、上級管理者になることです。ほかにもマックジョブ型人間だからできることがあります。『上司に対し「ゴマすり」「ハウレンソウ」を徹底する』『長時間会議にも全力で参加する』『社内外の親睦を深める飲み会などには必ず顔を出す』『社内外の噂話や人事情報にもアンテナを広げる』『多くの同僚や取引先と分け隔てなく付き合う』いくらAIが主流になったとしても、社会を形作っているのは血の通った人間です。人間関係が円滑にいかなければ、クリエイティブな人材の才能も活かされないと思います。頑張れ!マックジョブ型人間!人間性を磨け!

